

計画評価部会の報告について

1 計画評価部会の目的

計画評価部会では、東京都の自殺対策計画について評価・検証を行う。

2 開催日時

令和3年1月22日（金曜日）午前10時から正午まで

3 議事等

（1）東京都の自殺の現状等について

- 自殺者数の推移（平成8年～令和元年）
- 自殺死亡率の推移（平成19年～令和元年）
- 自殺未遂歴の有無別自殺者の割合（令和元年）
- 自殺者の年齢構成（令和元年）
- 年代別死因（令和元年）
- 年代別自殺者数（令和元年）
- 月別・年代別自殺者数、年換算自殺死亡率（令和元年・2年）
- 月別・性別自殺者数（令和元年・2年）
- 年代・性別自殺者数（令和元年・令和2年6～11月）

【意見・質問等】

- ・令和2年の自殺者（速報値）は全国で昨年と比較し3.7%の増加、東京都は6.2%で全国の増加よりも顕著だったと見るべき。
- ・10月の自殺者数の増加が非常に顕著だったが、「いのち支える自殺対策推進センター」で日別の推移を分析したところ、この増加は著名人の自殺報道のその直後から起きている。若年世代及び女性の自殺の増加の要因の1つとして自殺報道もあるということを確認しておくべき。ただ、報道だけではなく、その背景には女性が抱える様々な問題、非正規雇用に就かれている方が多い中で非正規の就業者数が減少している（失業している女性が多いだろう）、あるいは育児や介護を孤立した中で強いられていたり、場合によっては、家族の中でDVあるいは虐待を受けたりというような、女性が抱え込みがちな悩みや課題がこのコロナ禍において増えている。そうした状況の中で、そうした問題が複雑に絡み合って悪化する中で女性の増加があったと捉えるべき。

(2) 東京都自殺総合対策計画における各種取組の評価について

○自殺対策計画進捗確認シート

【意見・質問等】

- ・コロナ禍の対応として研修等のオンライン化という話があったが、コンテンツをアーカイブ化して、日時を問わずできれば広く公開して、学べるような形にできるとより効率的。
 - ・遺族支援など現地開催されていたものがコロナ禍の影響で開催できない状況もあるのではないかと。オンライン化の支援や実態把握ということを行政として後押しできるよう検討できるとよい。
 - ・遺族のつどいについて、東京は他県に比べコロナ禍でも実施していることが多い。一方計画を立てながら1回も開催していないところがあるのも現実で自治体間差がある。オンラインについてもオフラインと違うよさはある、1つの選択肢として捉えていきたい。
- (事務局) コロナ禍でイベントや研修等をどのように実施していくのかは共通の課題であるため、区市町村との定期的な連絡会等も通じて情報共有等を行っている。
- ・「ステイホーム」の「ホーム」という言葉は、家族を亡くした者については非常に辛い言葉でもあり、「自宅で」「外出自粛」といった呼びかけの方がよい。
 - ・データの分析について、自殺の背景要因を丁寧に分析するなどのミクロの分析ができると今後の対策にも生かせるのではないかと。

(3) 区市町村における自殺対策計画の策定及び評価について

○区市町村における自殺対策計画の策定状況

○港区、府中市、瑞穂町の取組状況の報告

【意見・質問等】

- ・区市町村ではコロナ対策と自殺対策の両立の難しさが現在のテーマとしてある。ワクチン対策と自殺対策の担当者が一緒という話もあったが、ワクチンやコロナに敏感な方々はもともと御自分の健康に非常に敏感な方で、普段から感染を懸念して医療機関への受診控えをして、健康状態を崩している、自殺のハイリスク群なのではないかと思う。

また、コロナに過敏で、社会的な交流を控える傾向にある方々で孤立のハイリスク群である可能性もある。そう考えると、ワクチン接種という単独事業としてではなく、健康管理や社会参画の情報提供の機会として活用できればコロナ対策と自殺対策を両立できる機会にもなりうるのではないかと感じた。

(4) その他

【意見・質問等】

- ・コロナに感染した自宅療養の方の自殺があったニュースがあり、非常に心が痛んだ。

→都の対応

- ・2月中旬より自宅療養者に別添のチラシを送付
- ・ホームページにおいても自宅療養中の相談窓口一覧を掲載

自宅療養中の相談窓口 一覧

自宅療養中の健康状態についての相談

自宅療養者フォローアップセンター

相談内容：自宅療養中の健康上の心配事

受付時間：24時間対応、土・日・祝日を含む毎日

電話番号：ご本人にお伝えします

自宅療養に伴うストレスなど心の健康に関する相談

【都】 心の電話相談

相談内容：お住いの住所地により都内3か所の精神保健福祉センターで都民の方の心の健康に関する相談を匿名でお受けしています。

お悩みやお気持ちを伺い、不安を和らげるお手伝いをさせていただきます

受付時間：9：00～17：00、平日

電話番号：精神保健福祉センター 03-3844-2212

【担当地域：千代田・中央・文京・台東・墨田・江東・豊島・北・荒川・板橋・足立・葛飾・江戸川の各区と島しょ地域】

中部総合精神保健福祉センター 03-3302-7711

【担当地域：港・新宿・品川・目黒・大田・世田谷・渋谷・中野・杉並・練馬の各区】

多摩総合精神保健福祉センター 042-371-5560

【担当地域：多摩全域】

【国】 心の悩みにおける相談窓口一覧（裏面参照）

相談内容：私生活において不安で眠れないといった悩みや、生きづらさを感じるなど様々な悩みを相談したい場合の情報をまとめています。

いきるのがつらいと感じた時の悩み相談

こころといのちのほっとライン

相談内容：いきるのがつらい

受付時間：14：00～翌朝5：30、土・日・祝日を含む毎日

電話番号：0570-087478

相談ほっとライン@東京

相談内容：いきるのがつらい（LINEで相談）

受付時間：15：00～21：30、土・日・祝日を含む毎日 ⇒



AIチャットボット「こころコンディショナー」

外部有識者等が制作したAIチャットボットにより、こころのケアを支援します。⇒



【参考】新型コロナウイルス感染症に関する一般相談

新型コロナコールセンター

相談内容：新型コロナウイルス感染症に関すること（予防・症状への対応など）

受付時間：9：00～22：00、土・日・祝日を含む毎日

電話番号：0570-550571